

禪海が挑み… 諭吉が護った…

青の洞門

競秀峰



HONYABAKEI KYOSYUHO



交通アクセス

JR特急

- 博多駅～中津駅……………90分
- 小倉駅～中津駅……………30分
- 大分駅～中津駅……………50分

バス

- 中津～青の洞門……………30分
- 日田～青の洞門……………60分

自動車

- 日田ICより……………35分
- 玖珠ICより……………40分
- 宇佐ICより……………25分
- 大分空港より……………1時間20分
- 北九州空港より……………1時間10分

競秀峰登山会
中津耶馬溪観光協会本耶馬溪支部
 (中津市 本耶馬溪支所内)

〒871-0295 大分県中津市本耶馬溪町曾木1800番地
 TEL.0979-52-2211 FAX.0979-52-2427

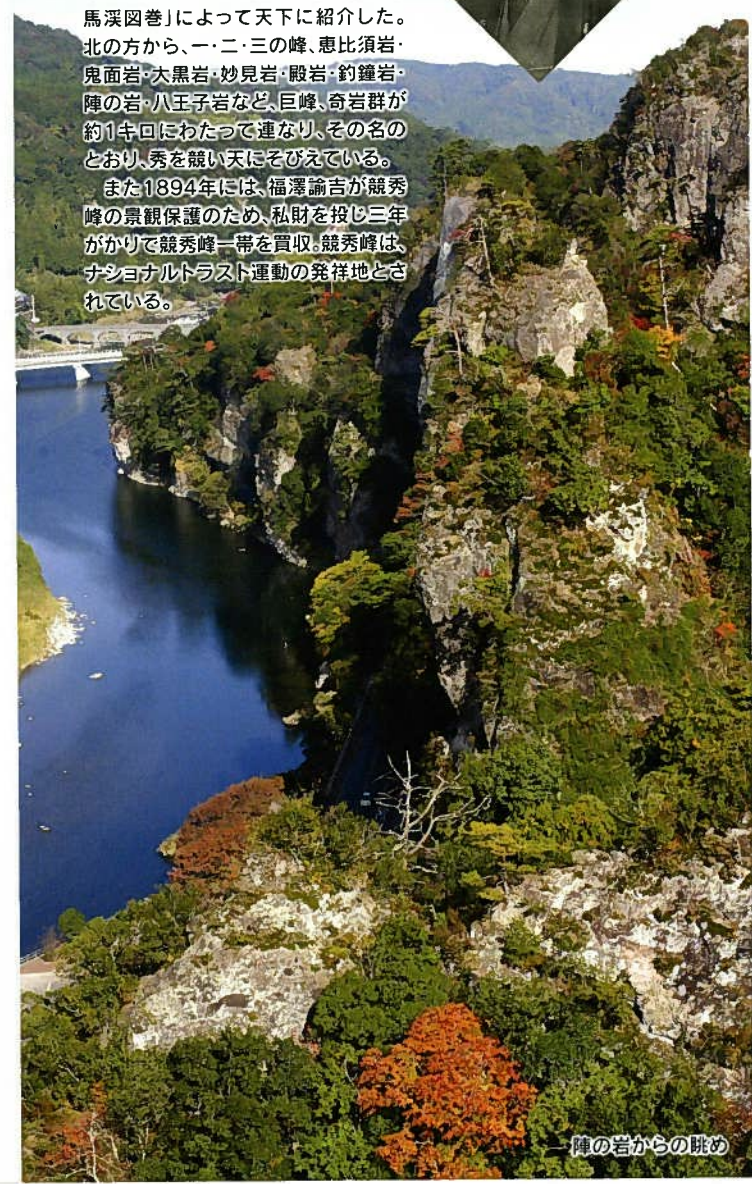
詳しくは [ほんやばけいのページ](#)

禪海が挑み、諭吉が護った競秀峰

菊地寛の小説「恩讐の彼方に」で名高い青の洞門。旅の途中、この地を訪れた禪海和尚は、競秀峰の難所・鎖渡で人や馬が山国川に命を落とす光景を見て一大決心。崖下に30年の歳月をかけ、ノミとツチで全長342mの洞門を掘り抜いた…。

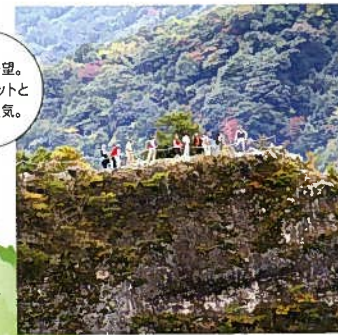
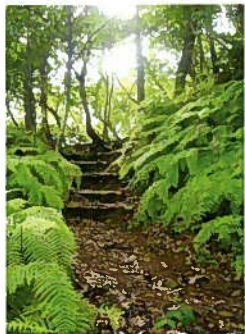
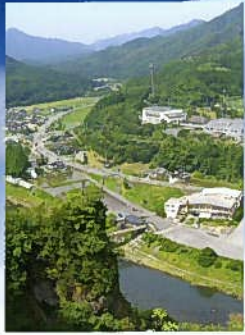
耶馬溪第一の名勝である競秀峰は、1767年に江戸浅草寺の金龍和尚が命名し、1818年に来溪した頼山陽が「耶馬溪図巻」によって天下に紹介した。北の方から、一・二・三の峰、恵比須岩・鬼面岩・大黒岩・妙見岩・殿岩・釣鐘岩・陣の岩・八王子岩など、巨峰、奇岩群が約1寺口にわたって連なり、その名のとおり、秀を競い天にそびえている。

また1894年には、福澤諭吉が競秀峰の景観保護のため、私財を投じ三年がかりで競秀峰一帯を買収。競秀峰は、ナショナルトラスト運動の発祥地とされている。



一陣の岩からの眺め

間近で見る不思議な奇岩の数々は、私たちの心に大きな感動を呼び起こしてくれます。
四季折々に彩られた探勝道で、ごゆっくりと大自然の迫力をお楽しみいただけます。



もっと「競秀峰」を知りたい…という方は

- 携帯電話の場合
<http://doumon.mobi> →
- パソコンの場合
<http://doumon.com>

眼下を一望。
撮影スポットとしても人気。

途中・不動窟・清水洞・三陣の洞・鍾遺あり

古い由緒を物語る
仏像・神像と伝説が
残っている。

途中梵字屋あり



大岩犬走の痕

鐘渡寺橋

